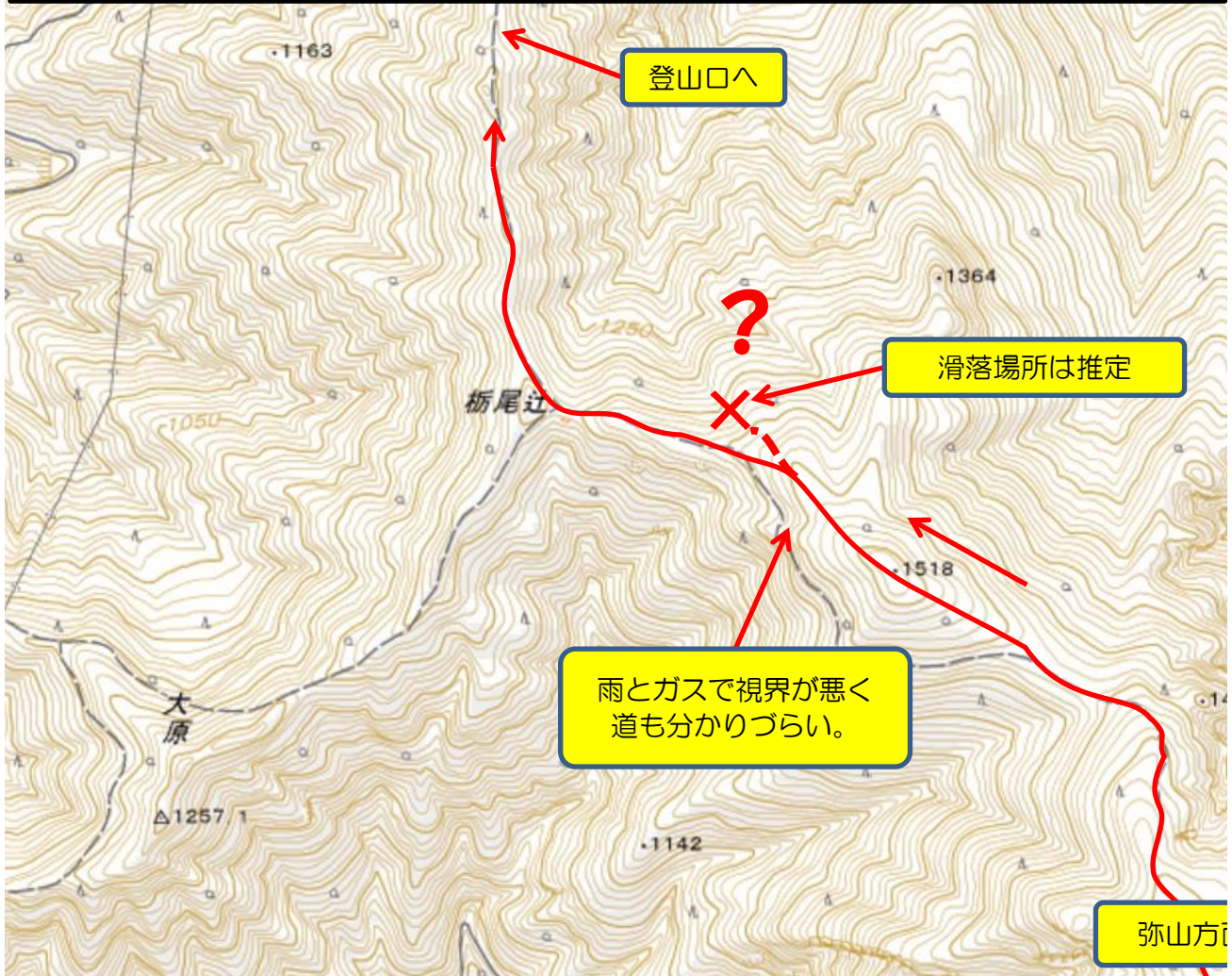


弥山遭難(2016年10月)

50歳男性、単独。雨とガスで視界が不良、登山道が分かりづらい。約1時間、道迷いした後、滑落。肋骨、腰椎を骨折し動けない。13日後、何とか登山道まで移動したところを登山者に発見され救助された。



解説

視界が雨とガスで悪い中、下りの時間に焦っていたこともあり、「あれっ？おかしい？」と思っても進んでしまう。地図アプリのソフトはスマホにインストールしていたが、地図のダウンロードはしていない。道を探しながら進んでいると急斜面で滑落。10mほどストンと落ち、20~30mほど滑り落ちた。肋骨骨折、腰椎骨折で動けない。食料は持っておらず湧き水を飲んで生き延びた。12日目待っていても助からないと思い少しずつ移動し翌日登山道で発見され救助された。

①視界が悪い。②雨が降っている。③下山時間に焦っている。④道が不明瞭でも進んでしまう。⑤滑落して動けない。⑥食料を持っていない。⑦地図アプリはスマホにインストールしていたが地図のダウンロードはしていない。⑧幸いにも湧き水が近くにあった。⑨時間経過とともに動けなかった体を動かし、救助を求めた。⑩幸運にも登山者に出会った。

①~⑦までは、マイナス要因。⑧~⑩はプラス要因。道迷いを起因とする滑落は非常に多い。①、②は自然現象でどうしようもないが、③~⑦のマイナスをプラスに変えることはできる。自分の行動に置き換えて注意していきたい。